

**どんぐりの苗には恵みの雨**  
どんぐり1000年の森植樹会

照葉樹の森を再生し、自然の大切さを学んでもらおうと、どんぐり1000年の森をつくる会による植樹会が3月18日、かかしの里パークゴルフ場周辺の山林で行われました。雨にもかかわらず、市内外から約600人が参加。雨具を着用した家族連れらは、ぬかるんだ斜面に悪戦苦闘しながらも、イチイガシやアラカシなど、約8,000本の苗を植樹しました。吉川琢磨くん(南小1年)は「木の根っこがあつて掘りづらいけど、15本は植えたい」とくわを力強く振っていました。



**ゆつくりとおごそかに浜下り**  
東霧島神社春季例大祭

高崎町の東霧島神社で3月20日、五穀豊穡や地域の発展を祈る春季例大祭が行われました。およそ400年前から続く伝統の祭りのメインは、島津家第19代家久公から寄進されたとされるみこしを担ぎ、本殿から八幡母所社まで練り歩く浜下り神事。太鼓が鳴り響く中、白装束を着た地区の住民らが、一晩で鬼が築いたとされる荒く急な石段を、みこしを担いでゆつくりと下りました。そのほかに境内の広場では、抽選会やステージイベントなどが行われ、多くの人出でにぎわっていました。



**待望の道を渡り初め**  
都城志布志道路ウォーキング大会

都城志布志道路の平塚・五十町インターチェンジ間約1.9キロの開通に先立ち3月20日、同区間の開通を記念するウォーキング大会が開催されました。自動車専用道路のため、同区間を歩くことができるのは最初で最後の機会ということもあって、地元の住民ら約700人が参加。健康づくりも兼ねながら、できたばかりの道路の渡り初めを楽しんでいました。上村ムツ子さん(鷹尾二丁目)は「待ちに待った道路の開通で、便利になる。全線開通が楽しみ」と期待を膨らませていました。



**名誉市民から次世代を担う人たちへ**  
「堀之内久男文庫」開設式

堀之内久男文庫の開設式が3月21日、市立図書館で行われました。堀之内久男翁功績顕彰会が、銅像建立のために集めた寄付金の剰余金を市に寄付したことから実現。祈念式典では、市長が「市民から愛される文庫として活用していきたい」とあいさつしたあと、関係者らがテープカットを行い、開設を祝いました。故人が農業に造詣が深かったことから、植物の栽培方法や病害虫の図鑑などを含む1,250冊が設置されたほか、故人の出身である中郷地区の3小中学校に設置されました。



## 心の目で的を射る

都城弓まつり全国弓道大会

3月24日・25日の両日、早水公園体育文化センターで、第25回となる都城弓まつり全国弓道大会が開催されました。主催者を代表して堀之内芳久さんが「日頃鍛えた心と力と技を存分に発揮してほしい」と激励。遠くは北海道など全国から参加した2,383人の選手らは、横一線に並び、真剣なまなざしで次々と矢を射っていました。この大会を通じて、国の伝統工芸品に指定されている都城大弓をはじめ、全国の竹弓生産のほとんどを占める、日本一の弓のまち都城を全国にPRしました。



## 春の訪れ 心躍る催し

せくらフェスタ高城

春の訪れを告げるさくらフェスタ高城が3月25日、観音池公園で開催されました。桜の開花前の開催となりましたが、家族連れを中心に、3,500人が来場。訪れた人たちは、地元の小中学生による吹奏楽の演奏を聞いたり、個性的な衣装やパフォーマンスで人気の高城プロレスのステージイベントなどを楽しんだりしていました。また同日、高城運動公園を発着に行われた都城さくらマラソンでは、起伏に富んだコースで、1,597人の市民ランナーが春風に乗って健脚を競い合っていました。



## 一番福目指しスタートダッシュ

せくら福男・せくら福女

桜まつりでにぎわう母智丘公園で3月31日、せくら福男・福女を決めるイベントが行われました。3回目の今年は県内外から37人が出場。桜並木入口をスタートした参加者らは、母智丘神社までの約2キロを力走しました。桜のトンネルを抜け、最後の難所となる階段を駆け上がり、1番にゴールした福男と福女は、息を弾ませながら本殿の鈴を鳴らしていました。2度目の挑戦で福男になった吉留将矢さん（高城町）は「結婚を考えたいので、これを機に仕事も頑張りたい」と喜んでいました。



## 命の尊さを語り継ぐ

都城市特別攻撃隊戦没者慰霊祭

特別攻撃隊戦没者慰霊祭が4月6日、都島公園でしめやかに行われ、遺族や戦友、遺族会関係者ら約350人が参列し、戦没者の冥福を祈りました。太平洋戦争末期、沖縄に向け、都城西・東飛行場から出撃し、帰らぬ人となった特攻隊員や、その支援に当たり亡くなった援護隊員を悼む同慰霊祭。遺族を代表してあいさつした中村尚範さん（愛知県）は「日本の平和のありがたさを感じています。今後は、子孫を戦争に送ってはいけません」と平和への誓いを新たにしていました。





あなたの子育て応援します！

## 都城市

## ファミリー・サポート・センター

写真右より

外山 明美さん

茶蘭 洋子さん

小田 裕子さん

瀬之口 ヤス子さん



**子**育て中の家庭を支援しよう  
と開設された都城市ファミリー・サポート・センター（通称：ファミサポ）。開設から1年が経過し、現在、託児などの援助を受けた利用会員112人と、その援助を行う援助会員113人がファミサポに登録されています。ファミサポは、サービスを受けたい利用会員が、託児や送迎などを希望する時間帯だけ援助会員に依頼するという仕組み。また、託児が行なわれる場所は利用会員の要望に合わせて、会員それぞれの

自宅やファミサポでもサービスを受けることができます。

現在、ファミサポでは、アドバイザーの茶蘭洋子さん（郡元町）、サブリーダーの小田裕子さん（金田町）、瀬之口ヤス子さん（山田町）、外山明美さん（郡元二丁目）の4人が、主任児童委員や保育士、障がい児・者福祉などに携わった経験を生かし、利用会員と援助会員の架け橋となっており、会員間の連絡調整を行っています。

ファミサポの援助会員になるには、市内在住の20歳以上の人で、ファミサポが実施する4日間（12時間）の援助会員養成講座の受講が必要です。「現在、登録している援助会員は、子育て経験が豊かで、子育て支援に関心のある人ばかり。人見知りや泣き出ししてしまう子どもも、安心して預けられます」と話す茶蘭さん。

4人は、利用会員の要望やその子どもの状況に合わせて、看護師や保育士の資格を持つ援助会員を紹介するなど、きめ細かな対応を心掛けています。

「手助けを必要とする家庭はたくさんあります。困った時に頼れる存在として、会員の立場に立って、子育てを応援していきたい」と目を輝かせていました。

# 環霧島探訪

—かんきりしまたんぼう—

Vol.1

**霧** 島山を囲む宮崎・鹿児島両  
県の5市2町で構成する環  
霧島会議では、圏域の活性化に取  
り組んでいます。そこで、今月か  
ら「環霧島探訪」と題し、この地  
域で活躍している人や団体、イベ  
ントなどを構成市町の広報紙にシ  
リーズで掲載していきます。

今回は、「環霧島会議都城大会」  
を紹介します。午後の部では、女  
流講師が環霧島地域の歴史を題  
材にした笑いあり、涙ありの講談  
をお届けします。

入場は無料。ぜひ参加ください。

◎問い合わせ 経営戦略課

☎ 23-2115

## 第10回 環霧島会議都城大会

●日時 5月18日(金) 13時～

●場所 都城市総合文化ホール

●パネルディスカッション 志学館大学の原口泉教授  
をコーディネーターに迎え、「新パワースポット  
環霧島トライアングル」(仮題)

をテーマにしたパネルディス  
カッションを行います。環霧  
島会議の進むべき方向性を探  
ります



●講談 人間国宝の一龍齋貞水の弟子で、テレビアニ  
メの声優としても活躍中の女流講師の一龍齋貞友  
さんによる講談「用水路開削に命をかけた坂元源兵  
衛物語」(仮題)

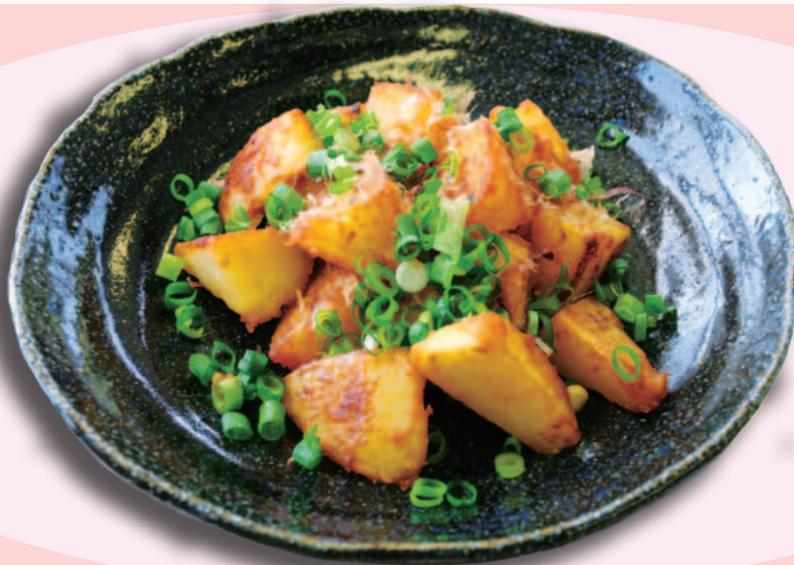
●その他 入場無料。申し込みも不要です

### 環霧島会議のこれまで

平成19年11月に設立された環霧島会議。  
これまでの取り組みの中で、「霧島火山防  
災マップ」は、昨年の新燃岳噴火のときに、  
地域住民の安心・安全を確保する上で役  
立ったことは、記憶に新しいところです。  
今後も環境や観光、防災、教育、農林、  
広報の6つの専門部会で、さまざまな事  
業について協力し、地域活性化を図っ  
ていきます。



霧島火山防災マップ



## 新ジャガ芋の甘辛炒め

お弁当の一品に

盆地生まれの  
元気をいただきます

※1人分98キロカロリー、塩分0.7グラム

- 材料(4人分) 新ジャガ芋…中2個(400g)
- (A) — オリーブオイル(サラダ油でも可)…小さじ1  
砂糖…大さじ1/2、濃口しょうゆ…大さじ1  
みりん…大さじ1/2
- 削り節…1/2袋(2g)、小ネギ…1本
- 下準備 新ジャガ芋…大きめの乱切りにしてゆでる  
小ネギ…小口切りにする
- 作り方 ① フライパンで油を熱し、ジャガ芋を焼く  
② ①に少し焦げ目がついたら(A)をかからめる  
③ 皿に盛り、削り節と小ネギを散らす



**ジ** ヤガ芋は、糖質やビタミン  
B1、ビタミンCが多く  
カリウムや食物繊維が豊富です。  
保存は常温で行い、また調理す  
るときは、毒性成分を含む発芽  
部を取り除きましょう。

**ワン!ポイント**  
お弁当に入れる  
時は、水分が多  
いと食中毒の原  
因になるので注  
意しましょう

◎問い合わせ

健康課 ☎ 23-2765